

事業の概況

経営環境

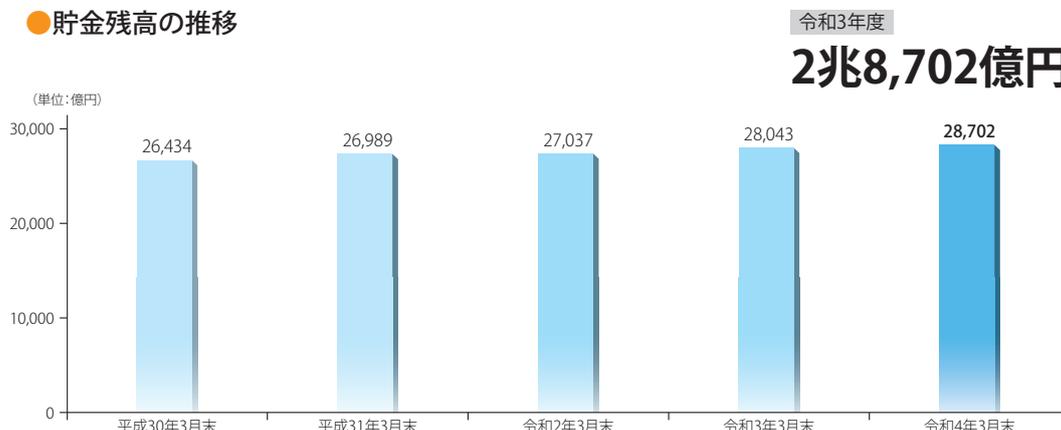
令和3年度は、前年度に続き新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、感染の拡大と収束が繰り返されました。9月の緊急事態宣言等の解除を受け、一部国内の飲食・観光・娯楽などサービス消費が持ち直したほか、半導体不足などの供給の混乱も一旦解消に向かい、10～12月期の国内経済はコロナ危機前の水準まで回復しました。しかし、令和4年に入ると、オミクロン変異株の出現により新規感染者数が増加に転じ、国内経済は再び下押しされました。

業績

貯金

当会の貯金は、JAからの貯金預入に加え、地方公共団体や大口法人取引先等から貯金獲得に取り組みました。その結果、令和4年3月末の残高は2兆8,702億円（前年比2.3%増）となりました。

●貯金残高の推移

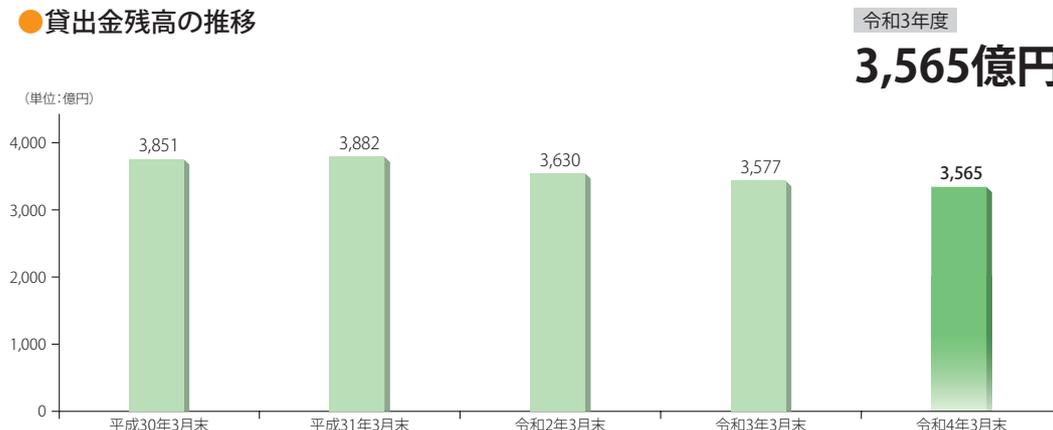


貸出金

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける取引先の支援に引き続き努めました。また、農業・農業関連等の産業を中心に、事業の再構築に取り組む企業の支援、生産性向上に資する設備投資への資金供給等に努め、地域産業顧客に対する貸出資産の質の向上、成長支援と金融仲介機能の発揮に取り組みました。

その結果、令和4年3月末残高は3,565億円（前年比0.3%減）となりました。

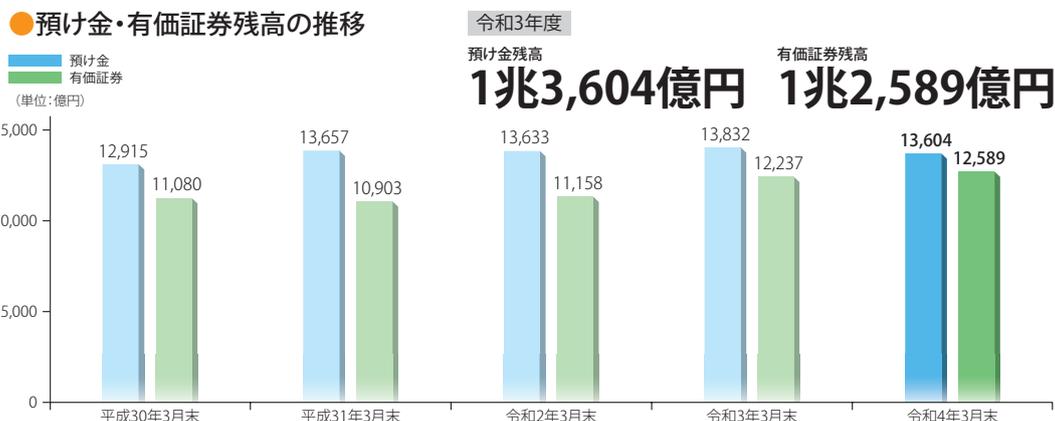
●貸出金残高の推移



預け金、有価証券

A L M委員会協議を踏まえ、投資環境の変化に応じた最適なアセットアロケーション（資産配分）の実践と計画目標収益の実現に向けて、分散投資を基本に収益性や安全性、流動性の確保に努めるとともに、ポートフォリオ全体の体質改善に取り組みました。

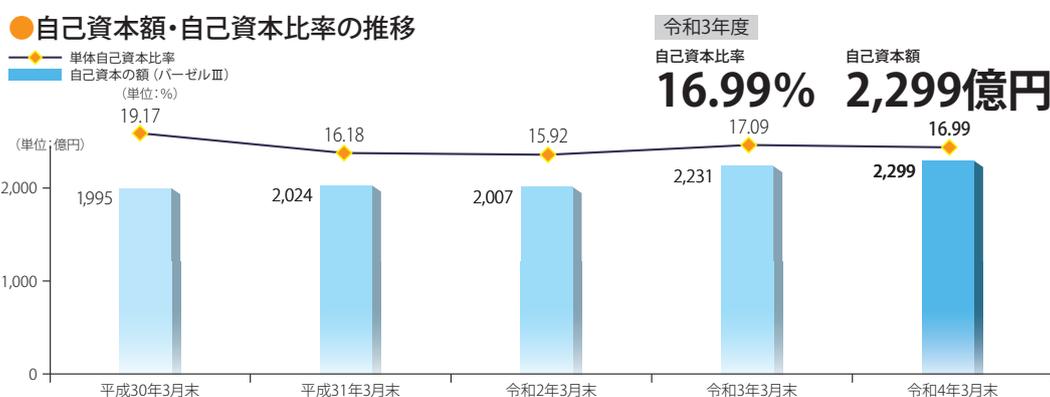
その結果、令和4年3月末の預け金残高は1兆3,604億円（前年比1.6%減）、有価証券残高は1兆2,589億円（前年比2.9%増）となりました。



自己資本比率（単体）

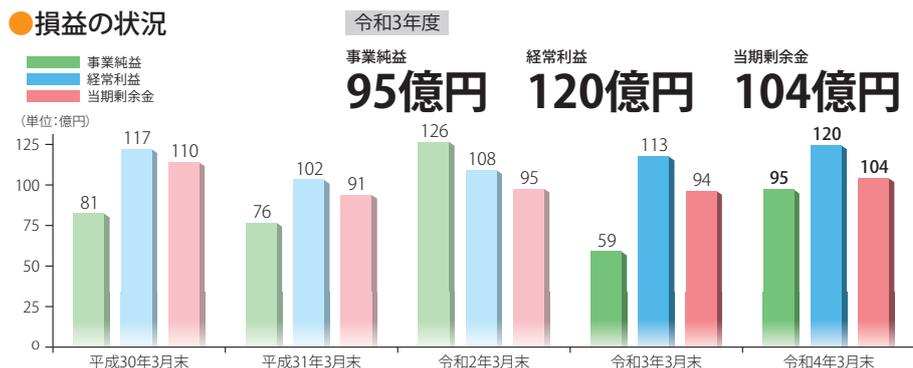
会員への安定・持続的な還元に必要な収益とこれを確保するためのリスクテイクに必要な自己資本（量・質）の増強に努めました。

その結果、法定自己資本比率は、16.99%となりました。



損益の状況

経常利益は前期比7億円増加の120億円、当期剰余金は前期比10億円増加の104億円となりました。



不良債権処理の状況

金融再生法開示債権（除く正常債権）6,303百万円のうち、担保・保証付債権額は966百万円、貸倒引当金残高は4,409百万円となっています。

自己査定		金融再生法に基づく開示債権	
破綻先	6	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	29
実質破綻先	22	危険債権	4,526
破綻懸念先	4,526	要管理債権	1,747
要注意先	要管理先	三月以上延滞債権	—
	その他の要注意先	貸出条件緩和債権	1,747
正常先	341,692	正常債権	352,241
合計	358,545	合計	358,545

金融再生法開示債権と担保・引当等の状況

(単位:百万円)



●自己査定における債務者区分

- 破綻先・実質破綻先…法的・形式的な経営破綻の事実が発生している先及び実質的に経営破綻に陥っている先
- 破綻懸念先…今後、経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる先
- 要注意先…今後の管理に注意を要する先（要注意先は、その債務者のうち当該債務者の債権の全部又は一部が三月以上延滞債権又は貸出条件緩和債権である「要管理先」と、要管理先以外の要注意先に属する「その他の要注意先」に区分されます。）
- 正常先…業況が良好であり、かつ財務内容にも問題がないと認められる先

●金融再生法に基づく開示債権区分

- 破産更生債権及び…破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらにこれらに準ずる債権 準ずる債権
- 危険債権…債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権
- 要管理債権…農協法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額
- 三月以上延滞債権…元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないもの
- 貸出条件緩和債権…債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないもの
- 正常債権…債務者の財政状態及び経営成績に特に問題ないものとして、上記の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、及び「要管理債権」以外のものに区分される債権

県域における業務の効率化、高度化

当会では、県域として、J Aにおける資産形成・資産運用業務の取組強化支援やローン・為替決済の各業務について、県域センターによる業務の集中・効率化、高度化を図っています。

資産相談センター業務

お客さま一人ひとりのライフプランに寄り添ったサポート・提案の実現に向けて、J Aにおける「資産形成・資産運用」「年金」「相続対策」についての相談機能を強化するため、J Aの人材育成やお客さまのニーズに応える商品・サービスの企画、年金相談会や顧客向けセミナー等を行っています。

また、日々高度化・専門化するお客さまの悩みや不安にお応えできるよう、専門家と連携した対応も行っていきます。

ローン事務サポートセンター業務

長野県J Aバンクホームページにローンの申込窓口を設け、WEBからお気軽にお申込みいただけるシステムを構築しています。お客さまからお申込みいただいたローンは、当会のローン事務サポートセンターにて、申込情報等のシステム入力 of 集中化を行っています。

同センターシステムによる稟議書・契約書の作成支援やオペレーション支援により、県下J Aにおけるローン事務の効率化を実現しています。

令和3年度の同センターにおける取扱状況は、事前審査申込受付件数が15,976件、本審査申込受付件数が6,226件、条件登録代行入力件数が5,997件となりました。

事務集中センター業務

長野県J Aバンクでは、効率化経営の一環としてバックオフィス機能を集約することにより事務の効率化・集中化、決済機能の高度化を図っています。

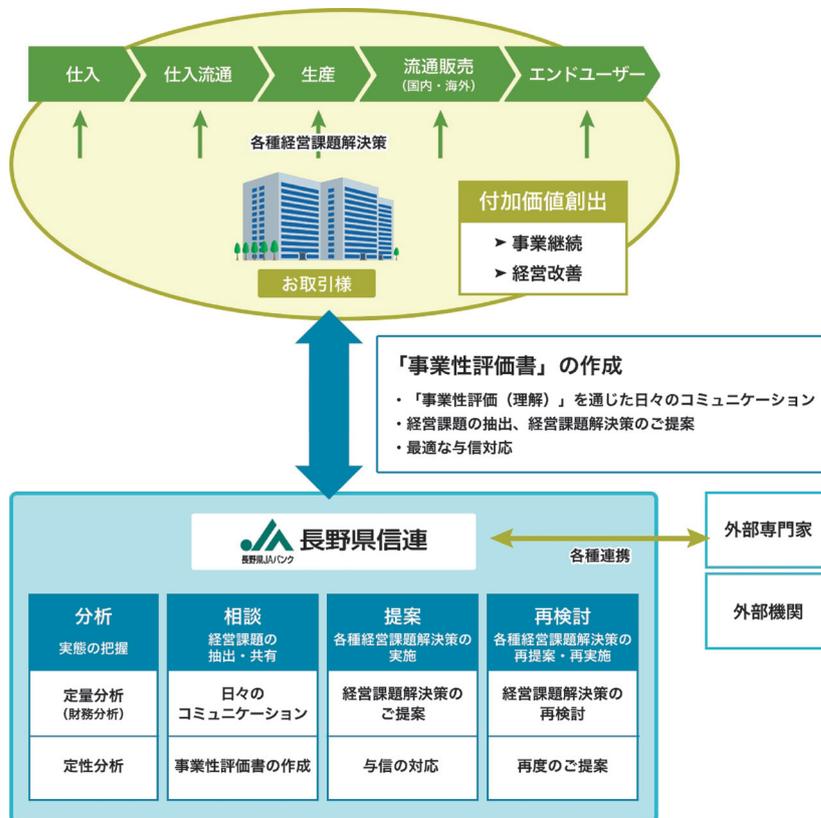
- 為替イメージ・OCRシステム**：県内J A窓口で受け付ける振込依頼書の画像を当会のOCRセンターが受信し、データ変換処理することにより正確かつ効率的に振込手続を行っています。
- 交換手形集中決済システム**：広域手形交換所の管内J Aに対し当会が代理交換を行い、J A店舗が支払場所となる手形の資金決済を代行して行っています。
- 口座振替依頼書管理システム**：口座振替依頼書の受付・管理・保管業務を、当会の登録センターがJ A窓口で代わり一括処理しています。登録センターに送付されるJ A口座指定の口座振替依頼書は年間10万件を超えており、県域集中処理とすることにより受付事務の効率化を実現しています。引き続き貯金者と口座振替実施企業に対し、より迅速・確実なサービスを提供してまいります。
*一部対象外の口座振替依頼書があります。
- 公金イメージ処理システム**：J A窓口で受け付けた公金・公共料金等の取りまとめを、当会の事務集中センターに集中化し処理しています。送付された納付書類はOCR装置によりデータ変換したうえで一括集中処理し、年間10万件を超える納付書の収納処理を正確かつ効率的に行っています。
*一部対象外の納付書類があります。

トピックス

事業性評価（理解）に向けた取り組み

「事業性評価（理解）」とは、お客さまとの日々のコミュニケーションや業界・財務・ビジネスモデル等の分析を通じて、企業経営の現状や課題を相互に理解することで、個別企業の経営改善や地域活性化を目指す取り組みです。

当会は、こうした「事業性評価（理解）」に基づき、お客さまの事業継続（成長）に向けた課題解決手法の検討・実行サポートによって、農業・地域社会の発展に貢献してまいります。

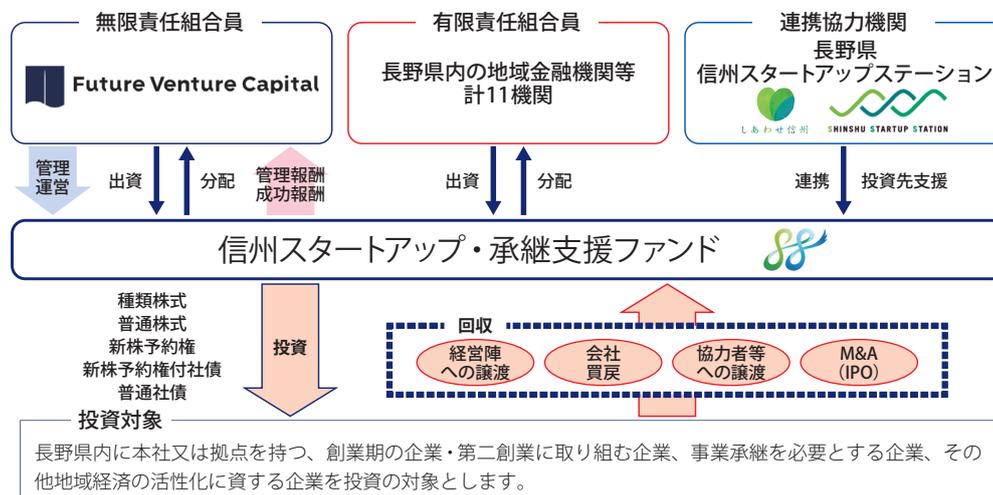


創業・事業承継支援の取り組み

当会は、令和4年4月1日付で長野県がフューチャーベンチャーキャピタル株式会社と連携し、創業・第二創業、事業承継支援等を目的に設立した「信州スタートアップ・承継支援ファンド（信州SSファンド）」へ出資をいたしました。

本ファンド等を通じて、創業期の企業・第二創業に取り組む企業、事業承継を必要とする企業、地域経済の活性化に取り組む企業の円滑な事業活動、資金調達、情報提供等を支援してまいります。

<信州SSファンドの概要>



優遇プログラムサービス

令和4年4月のコンビニATM手数料有料化に併せ、令和4年3月25日より「長野県JAバンク優遇プログラム」のサービスを開始しました。本サービスにより、お客さまのお取引状況等に応じて、コンビニ3社（セブン銀行・イーネット・ローソン銀行）ATMの入出金手数料が月2回まで無料となります。



JAバンクアプリ・JAネットバンク

JAバンクでは、窓口に出向くことなく利用できる便利で安心なサービスを提供し、さらなる機能拡充に努めています。

JAバンクアプリは、残高や入出金明細の照会ができるスマートフォン専用のアプリです。令和4年4月には、払込票決済サービス「PayB（ペイビー）」の提供を開始し、払込票のバーコードをJAバンクアプリで読み取ることにより、税金・公共料金や通販代金などの支払いが可能となりました。また、JAバンク公式キャラクターの「よりぞう」が積立式定期貯金や定期積金の取り組み状況をグラフで表示する等、わかりやすく親しみやすいデザインで、2021年度グッドデザイン賞を受賞しました。

JAネットバンクは、振込・振替等の各種取引ができるサービスであり、新規申込登録の翌日より利用可能です。初期設定の手順も簡単で、利用しやすいサービスとなっています。

JAバンクは、いつでもどこでも手軽で便利なサービスを提供し、より身近に感じていただける金融機関となるよう、取り組んでまいります。



「JAネットローン」金利軽減対応

長野県JAバンクでは、「JAネットローン」で仮申込みをいただいたお客さまに対し、年0.1%の金利軽減を行っています。

これまで「JAネットローンキャンペーン」として期間限定で実施してきましたが、利用者の皆さまにご好評をいただいたことから、令和3年7月より通年で実施しています。

また、「JAネットローン」をより多くの皆さまにご利用いただくため、テレビCMのほか、さまざまな媒体を用いて積極的なPRを行っています。



JA住宅ローンの新商品展開

長野県JAバンクでは、お客さまの幅広いニーズに対応するため、JA住宅ローン固定変動選択型20年固定「セレクト20」の派生商品として、令和4年1月より「ステップダウン型 住宅ローン」の取り扱いを開始しました。

「ステップダウン型 住宅ローン」は、固定金利期間20年間のなかで、お借り入れから10年経過後、当初借入金利から金利を引き下げる商品です。

お子さまの進学等により教育費用が高む時期の金利負担を軽減させることで、お客さまには安心してライフプランをご検討いただけます。



JAカードローン「Lip」をリニューアル

長野県JAバンクでは、住宅ローンという長いお付き合いのなかで、“もしもの時のお守り”としてカードローン「Lip」をご利用いただけるよう、令和4年3月より、住宅ローンの利用者の皆さまに限定した取組を実施しています。

住宅ローンの利用者の方で、新たに「Lip」をご契約いただいた方には金利軽減を行います。さらに「Lip」をご契約後3ヵ月以内に3万円以上ご利用いただいた方には、特別特典として“長野県産のちょっと贅沢なお米2kg”をプレゼントするとともに、こども食堂等を運営するNPO法人にもお米2kgを寄付いたします。

この特別特典は、住宅ローンの利用者の皆さまへのお米のプレゼントにとどまらず、利用者の皆さまの「社会に貢献したい」というお気持ちに長野県JAバンクがお応えする取り組みとして、令和4年3月から令和7年2月までの3年間実施いたします。



JAバンク給与受取ありがとうございますキャンペーン

長野県JAバンクでは、「長野県で働く皆さまに、JAバンクをもっと身近に感じていただきたい」との思いから、令和4年2月から5月の間に新たに給与振込の口座指定と、当該口座にてJAネットバンクをご契約いただいたお客さまを対象に、Amazonギフト券5,000円分をプレゼントする「JAバンク給与受取ありがとうございますキャンペーン」を実施しました。



年金キャンペーン

令和4年3月から令和5年2月までの間、新たに県内JAで公的年金のお受け取りを始められた方とその方をご紹介いただいた方（ご紹介時に県内JAで公的年金をお受け取りいただいている方）のお二人に、「選べるプレゼント」を贈呈するキャンペーンを展開しております。

また、正しい年金記録に基づいた年金をお受け取りいただけるよう、年金記録の確認サービスやお受け取り手続きのサポートを実施しています。

今後も「年金ならJAバンク」と言っていただけるよう、皆さまの充実したセカンドライフのサポートに努めてまいります。



長野県JAバンクオリジナルテレビCMの展開

長野県JAバンクでは、県統一PRとして各種キャンペーン等を実施し、長野県JAバンクの利便性や魅力ある商品ラインナップを訴求するとともに、親しまれる「JAバンク」としてイメージアップに取り組んでいます。

特にテレビCMについては、長野県JAバンクオリジナルCMによるPRを積極的に展開しています。

●ローン



住宅ローン「父篇」



住宅ローン「母と娘篇」



住宅ローン「息子篇」



JAネットローン

●非対面チャネル



非対面チャネル「アプリ篇」



非対面チャネル「総合篇」



非対面チャネル「ネットバンク篇」

●年金



年金ならJAバンク篇

●相続



相続の準備はJAバンク篇

テレビ番組への冠協賛

住宅の新築・購入を検討される方への有益な住宅情報の提供、ならびに長野県JAバンクが提携している住宅関連会社の応援を目的に、長野県JAバンクとしてNBS「長野県JAバンクpresents長野のスゴイ家」へ冠協賛しました。

令和3年4月から令和4年3月までの1年間に、全24の住宅関連会社を紹介いたしました。



番組ナビゲーター
ビルドくん

